

ありおか通信



令和8年8月28日

校長 廣重 久美子

6年生を対象に、令和8年4月23日（木）に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なおこの調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。

1 調査事項

（1）学力に関する調査〔国語・算数〕※それぞれ45分

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容

※上記①と②を一体的に問う

（2）学習状況に関する調査（児童質問紙）

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するもの。児童が活用するICT端末を用いたオンラインによる回答方式で実施

2 調査結果について

（1）学力に関する調査結果について

- ・国語、算数の正答率に関して、いずれも全国平均、兵庫県平均を上回る結果
- ・成果と課題

国語

○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることについて成果が見られた。

○語や文章の種類とその特徴についての理解において成果がみられた。

○理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう構成を考えることについて成果が見られた。

●考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解することについて課題が見られた。

●自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することについて課題が見られた。

算数

○示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う数値を求めることについて成果が見られた。

○単位分数の個数に着目し、数直線上の目盛りを適切に捉えることについて成果が見られ

た。

○異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述することについて成果が見られた。

●基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題が見られた。

●二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題が見られた。

(2) 学習状況に関する調査結果について

○睡眠については、睡眠時間の確保が進みつつあり、睡眠に関する学習や啓発の成果が出てきた。

○「自分にはよいところがある」の質問項目に関する肯定的回答が9割近い。同じく、「先生がよいところを認めてくれる」「人が困っているとき進んで助ける」の肯定的回答も高まっており、人間関係の落ち着きや自己肯定感の高まりが見える。

●「学校に行くことが楽しい」については肯定的な回答が増加傾向にあるが依然8割には届かない状況にある。

○「普段の生活の中で幸せな気持ちになることはあるか」という質問に対しては、9割を超える児童が肯定的な回答をしており、日々の生活の中で幸福感を感じながら過ごすことができている。「人の役に立つ人間になりたいと思う」という質問にも10割近い児童が肯定的な回答をしており、人と良い関わりを望み、人と支え合って生きていくことに前向きな姿が見られる。

●「主体的・対話的で深い学び」「総合的な学習の時間」に関わる質問項目について、肯定的な回答が全体的に低く、言われたことに取り組むだけではなく、自分から課題に積極的に向かっていく姿勢に課題が見られる。

●「国語が好き」「算数が好き」と感じている児童が比較的少ない。

○前向きに最後まで粘り強く取り組もうとする姿が見える。

<今後の取組について>

国語

引き続き、自分の考えをそのわけや根拠を示しながら伝え合うなどの指導の充実に取り組んでいきます。また、児童が互いに書いた文章を読み合ってアドバイスし合うなどの場面を設定して自分の考えが伝わる書き表し方を工夫する指導の充実に努めていきます。

算数

基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えるために、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を考察できるような授業づくりを引き続き行っていきます。

また、学級活動、日々の授業、学校朝礼など、すべての教育活動を通じて「主体的・対話的で深い学び」の実践に取り組むとともに、何事にも「まずはやってみよう！」と挑戦できる子どもの育成に努めてまいります。(今年度の学校教育目標は「自ら考え、未来を切り拓く子どもの育成～まずはやってみよう！」としています。)

子どもたちが心豊かに成長できるよう、学校で取り組んでまいりますので、ご家庭におかれましてもご協力をお願いいたします。